

2024年3月15日

若者のアイデア具現化・起業促進に向けた 大学主催ビジネスプランコンテストの構築 -ポストMAKE DREAM構築に向けた ケーススタディ-

総合政策学部総合政策学科4年生 松本凌汰

1

目次

- 研究概要
- 研究テーマの分野
- 研究目的
- 分析方法
- 研究結果（一部抜粋）
 1. 学生のアイデア具現化による産業振興と産官学連携による学生起業促進に関する研究の整理
 2. MAKE DREAMの課題と先進事例の参考点の比較
 3. 「ポストMAKE DREAM」の全体像～時間軸と担い手で整理した全体像
 4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言
 5. 引用・参考文献一覧

2

○研究概要

3

○研究概要

若者の**アイデア具現化**
・ **起業促進**に向けた
大学主催**ビジネスプランコンテスト**
構築に向けた方策を提言すること

4

○研究概要

～問題意識～

島根県立大学では「MAKE DREAM」が年に一度12月に開催
→発表した学生が起業した事例は少なく、か
に至らなくても、産業界にアイデアを
アイデア具現化に至った事例も少ない

私自身の
MAKE DREAM
出場経験

2つのリサーチ・クエスチョン

- ①地域の企業が担い手となって学生のアイデアを具現化につなげていくには島根県立大学、行政・支援機関によるどのような取組みが必要か
- ②学生が担い手となった起業につなげていくには島根県立大学、行政・支援機関によるどのような取組みが必要か

5

○研究テーマの分野

6

○研究テーマの分野

第2次浜田市総合振興計画「まちづくりの大綱」

活力ある産業を育て雇用をつくるまち
(産業経済)

7

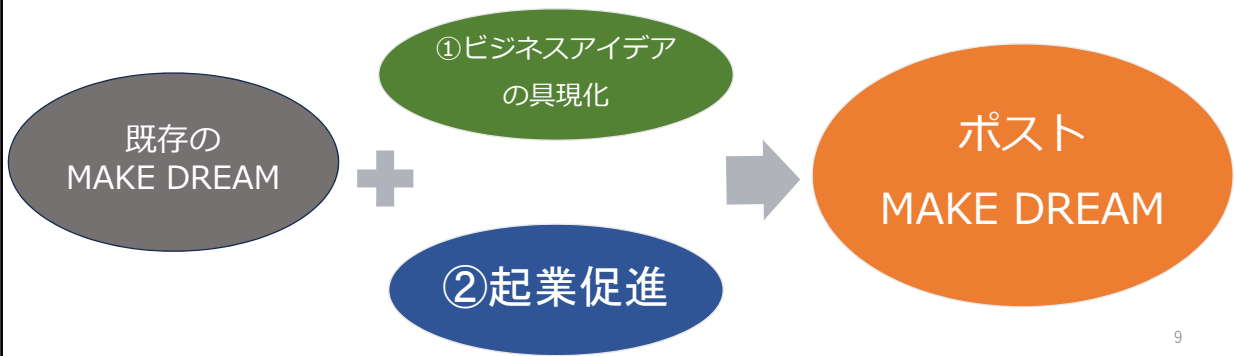
○研究目的

8

○研究目的

2つのリサーチ・クエストを明らかにする

- ①地域の企業が担い手となって学生のアイデアを具現化につなげていくには島根県立大学、行政・支援機関によるどのような取組みが必要か
- ②学生が担い手となった起業につなげていくには島根県立大学、行政・支援機関によるどのような取組みが必要か



○分析方法

○分析方法

先行研究整理

学生のアイデア具現化による産業振興、
産官学連携による学生起業促進に関する文献調査
→分析軸の設定



島根県内の調査

- ・はまだ産業振興機構（2023年9月4日）
- ・過去のMAKE DREAM参加者10名



MAKE DREAMの課題



学生のアイデア具現化・起業促進を目的とする
ポストMAKE DREAM構築に向けた方策を提言

他地域先進事例調査

兵庫県三田市商工会
「ビジネスアイデア
マッチング事業」
(2023年10月12日)



現状と他地域の取組みを比較と考察

11

○研究結果（一部抜粋）

12

○研究結果

1. 学生のアイデア具現化による産業振興と産学連携による学生起業促進に関する研究の整理

(1) 学生のアイデア具現化による産業振興に関する研究

・熊野（2019）

「学生のアイデアと地域企業や支援機関の**マッチング**の創出」

「プランの**ブラッシュアップ**機会創出」

⇒学生のアイデア具現化・起業を目的としたビジネスプランコンテストの構築に有効

・島根県立大学久保田典男研究室（2022）

「若者の興味の惹くチラシの配布、掲示等による**情報発信強化**」

⇒応募者や参加者の増加

・上田・江原（1992）、朝野・上田（2000）と柴田・永松・芹澤（2018）

「企業は学生ならではのものの見方と発想力に期待」

「ライフサイクル・マネジメントを元に（1）市場機会の発見、（2）製品デザインまでをアイデア具現化におけるフォローの目安とするべき」

⇒学生の力が**発揮できる場**や**プログラム構築**の必要性

・野間口（2015）

「大学人と企業人の間にある価値観の違いによるジレンマの存在」

⇒現実的な解決策を現場で探す**エージェント**導入の必要性

13

○研究結果

(2) 産官学連携による学生起業促進に関する研究

・熊野（2016）

「学生起業に必要な支援は『**場所**』、『**資金**』、『**アドバイザー**』」

「参加学生に起業家という職業の選択肢を与える」

⇒学生のアイデア具現化・起業を目的としたビジネスプランコンテストの構築に有効

・村松・船越・廣野・松浦（2022）

「ビジネスプランコンテスト**開催後のフォロー**の

「ビジネスプランコンテストを**創業支援の一環**として

⇒学生のアイデア具現化・起業を目的としたビジネス

起業において
マッチングより金銭的支援が
必要不可欠

(3) 先行研究のまとめ

先行研究から得た共通点：「**マッチング**」、「**学生の起業家教育**」、「**情報発信**」、「**資金確保**」

アイデア具現化部分：「①**マッチング**」、「②**学生の起業家教育**」、「③**情報発信**」

起業促進部分：「①**情報発信**」、「②**学生の起業家教育**」、「③**資金確保**」

14

○研究結果

2. MAKE DREAMの課題と先進事例の参考点の比較

表2 過去のMAKE DREAM参加者に対するインタビュー調査概要



(ビジネスアイデア作成のサポート対応、最終審査)

- ・情報発信について
(現状の情報発信、来場者数の推移等)
- ・資金確保について
(現状の金銭的支援内容、過去のアイデア具現化事例)

調査方法	調査日
対面	2023年9月4日



○研究結果

2. MAKE DREAMの課題と先進事例の参考点の比較

表2 過去のMAKE DREAM参加者に対するインタビュー調査概要

インタビュー調査相手		調査方法	調査日
2023年度の学年、 または卒業年度	発表年度、当時の学年		
2021年度卒業	2020年度、3年生	オンライン	2023年9月27日
2022年度卒業	2020年度、2年生	オンライン	2023年9月30日
2022年度卒業	2021年度、3年生	オンライン	2023年9月29日
4年生	2021年度、2年生	オンライン	2023年9月20日
4年生	2021年度、2年生	オンライン	2023年9月25日
4年生	2021年度、2年生	オンライン	2023年9月30日
4年生	2022年度、3年生	オンライン	2023年9月25日
3年生	2022年度、2年生	オンライン	2023年9月21日
3年生	2022年度、2年生	オンライン	2023年9月25日
3年生	2022年度、2年生	オンライン	2023年9月29日

質問内容

- ・MAKE DREAM参加後の起業への関心の変化
- ・MAKE DREAMを通して起業に関心を持った経験
- ・参加当時のアイデア具現化・起業希望の有無
- ・既存のMAKE DREAMへの課題、不満等

○研究結果

2. MAKE DREAMの課題と先進事例の参考点の比較

兵庫県三田市商工会「ビジネスアイデアマッチング事業」インタビュー調査の様子



○研究結果

2. MAKE DREAMの課題と先進事例の参考点の比較

表3 MAKE DREAMの課題と先進事例の参考点

事例 分析軸	MAKE DREAMの課題	先進事例（三田市ビジネスアイデアマッチング事業）の参考点
マッチング (アイデア 具現化)	・ビジネスアイデアと連携事業所のすり合わせによる実現可能性の向上 ・第3者のマッチングによる継続的ファシリテートの実現 ・審査基準のすり合わせ ・募集対象や応募期間の学生とのすり合わせ	・商工会の情報を活かして連携事業者を決定 ・ビジネスや起業をサポートする専門家がコーディネーター ・地域の抱える課題を行政機関がピックアップ ・事前にコーディネーターと事業者が、参加者に求める商品開発プロセス5要素のステップの幅を決定 ・幅広い分野の審査員 ・18歳から応募が可能
学生の起業 家教育 (アイデア 具現化)	・学生ならではのものの見方と発想力を活かした実現可能性の高いビジネスアイデアを作成する機会を構築 ・ブラッシュアップ機会の構築 ・適切な相談窓口の設置	・コーディネーターの伴走支援 ・ブラッシュアップのための講座 ・参加費無料 ・相談窓口の確立
情報発信 (アイデア 具現化)	・情報発信の強化 ・MAKE DREAM開催意義の周知拡大	・産学官連携の情報発信 ・確実なアイデア具現化へ実績 ・コーディネーター経由で来場者収集 ・公募制
情報発信 (起業促進)	・産学官連携の情報発信の実施 ・最終審査会後の情報発信	・起業に向けた力をつけることができることをアピール
学生の起業 家教育 (起業促 進)	・最終審査会後のフォロー ・コミュニティの創出	・建設的なフィードバック ・商工会のコネクション活用
資金確保 (起業促進)	・起業するための金銭的支援の強化 ・市全体で学生起業を支援	・商工会のサポート体制 ・各事業者の金銭的負担可能範囲をあらかじめ把握

○研究結果

3. 「ポストMAKE DREAM」の全体像～時間軸と担い手で整理した全体像～

表4 ポストMAKE DREAMの全体像（MAKE DREAMの改善）

ポストMAKE DREAM		
実施時期	担い手	提言内容
募集前	浜田市	適切なコーディネーターとマッチングをする
		ポストMAKE DREAMを組み込んだ創業支援プログラムを構築する
	島根県立大学	幅広い分野から最終審査員を選出する
		ポストMAKE DREAMの期間を調整する
		ポストMAKE DREAM専用相談窓口の設置
		商工会やコーディネーター経由で来場者を収集する
		若者の興味を惹くチラシを配布、掲示する
		各島根県立大学公式SNSアカウントで周知をする
		過去アイデア具現化・起業実績者の講演会や座談会を実施する
		島根県立大学生を主なターゲットとしつつ公募制にする
ビジネスアイデア作成期間	島根県立大学	ビジネスアイデア作成セミナーを実施する
ブラッシュアップ期間	島根県立大学	ブラッシュアップ期間中にブラッシュアップ機会を創出する
最終審査会	島根県立大学	オンラインツールで配信する
最終審査会后	浜田市	商工会の情報を活かして適切な学生と企業のマッチングをする
		学生と企業の想いの確認
		継続的にメールマガジンでビジネスアイデアや学生の情報を発信する
		イベントに参加し、ビジネスアイデアを表舞台にあげる機会を増やす
	島根県立大学	起業希望者に向けた利用可能創業支援紹介セミナーの実施をする
		学生に合わせてスケジュール調整する
		起業家育成教育の機会創出
		参加学生のコミュニティ創出
		先輩起業家を巻き込む

19

○研究結果

3. 「ポストMAKE DREAM」の全体像～時間軸と担い手で整理した全体像～

表5 ポストMAKE DREAMの全体像（新応募コースの構築）

新応募コース		
実施時期	担い手	提言内容
募集前	島根県立大学	学生とビジネスを共創したい事業者をリストアップする
		コーディネーターと事業所で事業化可能範囲を共有
		参加者に求める商品開発プロセス5要素のステップの幅の決定
		募集対象を島根県立大学学生の低学年とする

20

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(1) 若者のアイデア具現化に向けたマッチング

1) 行政・支援機関によるマッチング

①商工会の情報を活かして適切な学生と企業のマッチングをする

→マッチングの機会創出において、行政機関が主体となり商工会・商工会議所と連携することで、学生のアイデアと適切な地域企業をマッチングすることができる

②適切なコーディネーターとマッチングをする

→様々な分野や領域の専門家を抱える団体、もしくは個人をポストMAKE DREAMの公認コーディネーターとして常設

③学生と企業の想いの確認

→アイデア具現化の際に学生の想いと担い手となる地域企業の想いの確認の場の提供と定期的なファシリテート

21

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(1) 若者のアイデア具現化に向けたマッチング

2) 島根県立大学によるマッチング

①幅広い分野から最終審査員を選出する

→コーディネーターやMAKE DREAMの窓口を担うベンチャービジネス論の担当教員のネットワークを介して、適切な審査員を選出

②学生に合わせてスケジュール調整をする

→アイデア具現化の際、島根県立大学によるサポートや、オンラインツールを使用したタスク管理等で学業と両立して事業活動を行う

③ポストMAKE DREAMの期間を調整する

例年：募集期間6月中旬～10月中旬、ブラッシュアップ期間11月～12月中旬

変更後：募集期間6月中旬～7月末、ブラッシュアップ期間8月～12月中旬

→アイデアの実現可能性を向上することができる

22

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(2) 若者のアイデア具現化・起業促進に向けた学生の起業家教育

1) 島根県立大学によるアイデア具現化に向けた学生の起業家教育

① ビジネスアイデア作成セミナーを実施する

→実現可能性の高いビジネスアイデアを作成や、最終審査会でのプレゼンテーションの質を高める

② ブラッシュアップ期間中に大学主催でブラッシュアップの機会を創出する

→コーディネーターによるブラッシュアップの機会を設けることで、より実現可能性の高いアイデアになるだけでなく、ヒアリング調査のアポイントメントの仕方等も学べる

③ ポストMAKE DREAM専用相談窓口の設置

→ベンチャービジネス論の担当教員が窓口の担当を担い、気軽に大学側と相談できる環境を整備する

23

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(2) 若者のアイデア具現化・起業促進に向けた学生の起業家教育

2) 島根県立大学による起業促進に向けた学生の起業家教育

① 起業家育成教育の機会創出

→ポストMAKE DREAM参加後に起業家の育成を目的とするビジネスアイデアのブラッシュアップの機会の創出

② 参加学生のコミュニティ創出

→ポストMAKE DREAM参加後、参加者同士の交流の場を設けることでお互いのビジネスアイデアのフィードバックや、ブラッシュアップ、起業に向けたモチベーションの向上につながる

③ 先輩起業家を巻き込む

→起業経験者の体験を聞くことで、ビジネスアイデアをスムーズに次のステップに進め、起業に近づく

24

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(3) 若者のアイデア具現化・起業促進に向けた情報発信

1) 島根県立大学によるアイデア具現化に向けた情報発信

① 商工会やコーディネーター経由で来場者を収集する

② 若者の興味を惹くチラシを掲示、配布する

→ 起業の関心問わず目を惹くチラシで最終審査会の来場者を増やす

③ 各島根県立大学公式snsアカウントで周知をする

→ 2022年度に筆者が参加した「島根電工長期実践型キャリア教育プログラム」

アカウントを中心に情報発信

④ オンラインツールで配信する

→ ライブ配信による情報発信力強化で次年度以降の

マッチングを創出

⑤ 過去のアイデア具現化・起業実績者の講演会や座談会を開催する

⑥ 島根県立大学生を主なターゲットとしつつ公募制で広く募集する



長期実践型キャリア教育プログラム
(旧称: 長期インターンシップ)

【島根電工株式会社】

参加者募集

島根電工株式会社 県大広報室プログラム

島根電工株式会社では、紙媒体からWebサイト・動画等のデジタルコンテンツまで様々なメディアをコミュニケーションツールとして活用しています。このインターンシッププログラムでは、同社のビジネスを経験・取材することを通し、「生きた情報」を自ら発信し、発信することを経験とします。ただし、「誰に(対象)」「どのような(媒体・表現)」「なぜ発信するのか(目的)」は、集まったインターン生自らが同社のおかれた環境・状況を分析し、仮説立案・社内提案・制作・効果測定までを行います。

テーマ & コール

プロセス&スケジュール

Stage	内容	時期
Stage0	キックオフ ・3/23(木)10:00~13:00 ※昼食を準備します ・本社見学とチーム作り ・Webや書籍による事前学習	3月下旬~
Stage1	社の各種取組の経験と現状分析 ・事業内容および社員や現場を知る ・インタビューに受け、経験や知識やキャンパス所在地を考慮して仮説立案、社内提案、制作・効果測定を行います。 ・オンラインを活用しチームミーティングを自前企業します。	4月~7月
Stage2	発信プロジェクトの企画 ・企画立案 ・社内プレゼンテーション	8月
Stage3	取材および制作・発信 ・企画案の実行(制作・発信) ・効果測定	~11月中旬(予定)

2023年度で2期目となるプログラム。社会人募集のインターンシップと併行して実施します。特に、主体的・協力的な姿勢や能力を重視し、優秀な人材の育成に努めます。

定員 5名程度

対象 島根県立大学 学生

応募要件 ①3/23(木)10:00~13:00のキックオフミーティングに原則として現地参加できること
②3/15~3/14の期間に実施する事前面談に参加可能なこと

期間 3月下旬~11月中旬(予定)

申込方法 専用ESを記入しデータ提出
(メール送付のリンク先をQRコードより入手)

締切 3/10(金)17:00

申込先

島根電工株式会社 県大広報室

島根県立大学

島根県立大学 学生課

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(3) 若者のアイデア具現化・起業促進に向けた情報発信

2) 行政・支援機関による起業促進に向けた情報発信

① 継続的にメールマガジンでビジネスアイデアや学生の情報を発信する

→ 地域の企業や支援機関から起業に向けた支援の機会を増やすことが期待される

また、浜田市が情報発信を担うことで企業や支援機関による支援の機会創出後も

スムーズに浜田市での創業支援に移ることができる

② しまね大交流会に参加し、ビジネスアイデアを表舞台にあげる機会を構築する

→ 島根県内の企業や行政・支援機関が一度に集まるビッグイベントである「しまね大交流会」で、浜田市が参加の担い手となって学生がビジネスアイデアを発表することで、公式性が増し、参加企業や行政・支援機関の注目を集め、起業に向けた支援を受ける機会創出の可能性が高まる

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(4) 若者の起業促進に向けた資金確保～行政・支援機関による資金確保

①ポストMAKE DREAMを組み込んだ創業支援プログラムを構築する

→ポストMAKE DREAMを浜田市創業支援計画の一部に組み込み、浜田市における創業支援の一連の支援の一つとして位置づけ、浜田市全体で学生起業を促進

②起業希望者に向けた利用可能創業支援紹介セミナー開催

→ポストMAKE DREAM発表後、起業を視野に入れている学生が実際に利用することができる支援を紹介する機会を設けることで学生の起業に対するハードルが下がり、将来的な起業家創出が期待される

27

○研究結果

4. ポストMAKE DREAMの構築に向けた提言

(5) アイデア具現化に向けた新応募コース構築～新応募コース構築

①学生とビジネスを共創したい事業者をリストアップ

→行政や商工会が抱える市内事業者の情報の中から、学生とビジネスを共創したい事業者を事前に把握しておくことでスムーズに学生のアイデア具現化を実現

②コーディネーターと事業所で事業化可能範囲を共有

→専門家による経営資源の分析により、事業化に向けた負担の範囲を明らかにすることで学生のアイデア実現可能性を向上

③参加者に求める商品開発プロセス5要素のステップの幅の決定

→参加者に求める商品開発プロセス5要素のステップの幅を参加企業とコーディネーターで事前に決定しておくことで、参加者のアイデア出しの幅を制限でき、企業の課題に合ったアイデアが多く出されるようになる

④募集対象を島根県立大学学生の低学年とする

→新規事業の実現は3年かかるといわれているため、大学1年生や2年生の大学生低学年のうちに本コースでアイデア具現化に取り組むことで、学生が希望した場合、残りの大学生活も継続してアイデア具現化の活動に協力することができる。

28

○引用・参考文献一覧

29

○引用・参考文献一覧

【論文・報告書・資料】

- ・朝野熙彦・上田隆穂（2000）『マーケティング&リサーチ通論』講談社。
- ・上田隆穂・江原淳（1992）『マーケティング』新世社。
- ・熊野正樹（2016）「ベンチャー企業の創出と起業家教育 - 崇城大学起業家育成プログラム - 」『日本政策金融公庫論集』第30号、63 - 82頁。
- ・熊野正樹（2019）「起業家教育と起業家の輩出 - 九州大学起業部の事例 - 」『同志社商学』第70巻 第6号、403 - 417頁。
- ・柴田典子・永松陽明・芹澤美智子（2018）「大学マーケティング教育における商品開発プロセスの構築」『横浜市立大学論叢社会科学系列』70巻3号、59 - 80頁。
- ・島根県立大学久保田典男研究室(2022)「島根県内における若者の起業意識醸成と起業促進支援に関する研究」。
- ・野間口隆郎（2015）「産学連携のジレンマに関する考察 - プロジェクト・マネジメントの観点から - 」『国際P2M学会研究発表大会予稿集』304 - 313頁。
- ・村松茂・船越博紀・廣野宏之・松浦智（2022）「産官学連携起業教育の試み」『東北芸術工科大学紀要第』29号、1 - 7頁。

30

○引用・参考文献一覧

【参考ウェブサイト】

- ・株式会社ナレッジインベストメントグループウェブサイト <https://kig.blue/> (2023年11月18日アクセス)。
- ・公立大学法人島根県立大学「令和4年度 島根電工株式会社(松江市) 【有償型】」 https://www.u-shimane.ac.jp/career/internship/tyoukiintern_2022shimanedenkou.html (2023年10月21日アクセス)。
- ・三田市商工会起業家支援施設CORELAB SANDAウェブサイト <https://sanda.or.jp/incubation/> (2023年11月11日アクセス)。
- ・三田市商工会「ビジネスマッチング事業 参加者募集！」 <https://www.sanda.or.jp/2023/05/12/4545/> (2023年10月1日アクセス)。
- ・しまね産学官連携コンソーシアム「コンソーシアムについて」 <https://www.conso.shimane-u.ac.jp/about.html> (2023年11月21日アクセス)。
- ・しまね産学官連携コンソーシアム「しまね大交流会2023」 https://www.conso.shimane-u.ac.jp/exchange_meeting/2023.html (2023年11月21日アクセス)。
- ・全国商工会連合会「小規模事業者持続化補助金」 https://www.shokokai.or.jp/jizokuka_r1h/jizokuka.html (2023年11月13日アクセス)。
- ・日本政策金融公庫「マル経融資(小規模事業者経営改善資金) https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/kaizen_m.html (2023年11月13日アクセス)。
- ・浜田応援団ウェブサイト <https://ohen.joho-hamada.jp/> (2023年11月9日アクセス)。
- ・浜田市「定住関係人口推進課 担当事務」
<https://www.city.hamada.shimane.jp/www/job/1000000000126/index.html> (2023年11月9日アクセス)。
- ・PR TIMES「株式会社ナレッジインベストメントグループ」
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/63702?tab=story (2023年11月11日アクセス)。